

子どもの心理療法 Baby Step 2023

子どものこころの発達と精神分析的な観察の視点を生かす心理療法を学ぶ

「子どもの心理療法 Baby Step」では、赤ちゃんが一步ずつゆっくりと歩みを進めるように、子どもの精神分析的な心理療法を学ぶための小さな一歩を踏み出そうとする専門家を対象とした学びの場を提供致します。子どもの精神分析的な心理療法を学んでいく上で必要となる文献や発達に関する基礎的な文献を講読しながら、子どもの心理療法実践あるいは臨床場面での観察記録を用いた事例検討を行ない、参加者それぞれが主体性を持って考えることができるようになるために、自らの臨床感覚を磨いていくことが目標となります。初心者のためのグループなので、普段の臨床場面で感じている疑問や不安について、あるいは今後の訓練の仕方について等、様々なことを自由に話しながら、子どもの精神分析的な心理療法を学ぶための歩みを進めていくための場となればと思っています。

スケジュール・内容

日程：原則第3金曜日、19時30分～22時（全10回）

時間：前半1時間：文献講読＋ディスカッション、後半1時間30分：事例検討

対象：臨床心理士、公認心理師、子どもに関わる臨床家など

定員：10名（1人1回は事例提示すること、順番は相談し決める）

料金：全10回30,000円（分割払い可）※支払い方法は申込された方に別途お知らせします。

場所：オンライン開催（Zoom）

参加申込

以下の申込フォームおよびQRコードより申し込み下さい。

▼ <https://forms.gle/PGgyJUehGyuaoiJB6>

▼ 講師より参加可能かどうかの返信メールを送ります。

申込用QRコード



文献

- ・指定文献：アン・アルヴァレス（脇谷順子監訳）『子どものこころの生きた理解に向けて—発達障害・被虐待児との心理療法の3つのレベル』金剛出版
- ・副読本：木部則雄・平井正三監修、吉沢伸一・松本拓真・小笠原貴史編著『子どもの精神分析的セラピストになること—実践と訓練をめぐる情動経験の物語』金剛出版

※詳細は参加者宛てに別途お知らせします。

講師

小笠原 貴史（おがさはら たかふみ）

臨床心理士、公認心理師、サポチル認定子どもの精神分析的な心理療法士。国立精神・神経センター武蔵病院、こうぬまクリニック、スクールカウンセラー等を経て、現在、こうぬま心理相談室にて臨床実践。認定NPO法人子どもの心理療法支援会 関東理事。論文「自閉状態の隙間—分離に伴う死の苦痛と生の実感の相克をめぐる—」にて、2016年度日本精神分析学会奨励賞（山村賞）受賞。共編著として『子どもの精神分析的セラピストになること』、共訳書としてアルヴァレス『子どものこころの生きた理解に向けて』（いずれも金剛出版）等がある。

問い合わせ先：info@kodomo-kazoku-kokoro.com

HP：<https://www.kodomo-kazoku-kokoro.com>

